

N

DVDを見る

VXM-145VSi
VXM-145VS

映像
DVD

各部のなまえとはたらき	N-2
DVDプレーヤーを使う	N-3
視聴制限ディスクを挿入したとき	N-3
メニュー画面が表示されたときの 操作方法について	N-3
再生を停止する	N-4
再生を一時停止(静止)する	N-5
再生中にチャプターを戻す/進める	N-5
スロー戻し/スロー送りをする	N-6
DVDメニューを使う	N-7
タイトルメニューを使う	N-9
好きな所から再生する(サーチ選択)	N-11
音声言語/字幕言語を切り替える	N-13
TITLE/CHAPTER/TIMEの表示を替える	N-14
リピート(繰り返し)再生する	N-15
アングル(角度)を切り替える	N-16
VRモードディスク内の映像をリストより選び、 再生させる	N-16
DVDの初期設定について	N-18
初期設定を変更する	N-18

各部のなまえとはたらき

VXM-145VSi

VXM-145VS

操作ボタン1表示画面



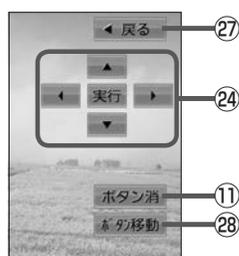
停止画面



操作ボタン2表示画面



カーソル表示画面



サーチ選択画面／10キー入力画面



操作ボタンは、無操作の状態がしばらく続くと、自動的に消えます。

- ① タイトルメニュー／タイトルリスト表示
- ② DVDメニュー／プレイリスト表示
- ③ 停止画面を表示
- ④ 再生／一時停止
- ⑤ 音声言語／音声チャンネルの切り替え
- ⑥ 字幕言語の切り替え
- ⑦ アングルの切り替え
- ⑧ メニュー画面表示前の再生ポイントに戻って再生
- ⑨ 操作ボタン2画面へ
- ⑩ Quick MENUを表示
- ⑪ 操作ボタンを非表示
- ⑫ 再生時間の表示
- ⑬ リピートモードの切り替え
- ⑭ カーソル表示画面を表示
- ⑮ 10キー入力画面を表示
- ⑯ サーチ選択画面を表示
- ⑰ 選んだ項目を実行
- ⑱ DVDメニュー画面操作時、1つ前の画面に戻る
- ⑲ DVD設定画面を表示
- ⑳ 操作ボタン1画面へ
- ㉑ 入力した数字を訂正
- ㉒ 数字を入力
- ㉓ サーチモードの切り替え
- ㉔ 画面内の項目を選択／実行
- ㉕ 続きメモリー機能を解除
- ㉖ 再生開始
- ㉗ 操作ボタン2画面へ
- ㉘ カーソル表示位置の変更(画面左／右)

視聴制限ディスクを挿入したとき

視聴制限のデータが収録されたDVDビデオを挿入すると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。**はい**を選ぶとパスワード入力画面が表示され、入力したパスワードが正しいと、DVDビデオが再生されます。

📖 「DVDの初期設定について」N-18

メニュー画面が表示されたときの操作方法について

DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は、下記の2つの操作方法があります。

■ 画面のメニュー項目を直接タッチ

※ディスクによっては操作できない場合があります。

※操作ボタンが表示されている場合は項目を選べません。**ボタン消**をタッチして操作ボタンを消してください。

■ カーソルを表示させ項目を選ぶ

① **MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

② **次へ**をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル**をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



③ **▲ ▼ ◀ ▶** (カーソルキー)をタッチして項目を選び、**実行**をタッチする。

：選んだ項目が再生されます。

※操作ボタンの表示をやめるには**ボタン消**をタッチしてください。

※ディスクによっては操作できない場合があります。

DVDプレーヤーを使う

再生を停止する

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **■** (停止)をタッチする。

: 再生を止め、停止画面が表示されます。

(続きメモリー機能が働きます。)

続きメモリー機能

- 再生中に **■** (停止)をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面にメッセージを表示し、映像/音声を止めます。**▶||** (再生)をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続きメモリー機能は、**続き再生解除** をタッチするかディスクを取り出すと操作で解除されます。
 - ※ **DVD設定** を変更した場合、設定内容によっては続きメモリー機能が解除される場合があります。**▶ N-18**



3 再度再生を始めるには、**▶||** (再生)をタッチする。

停止画面



ディスクの最初から再生したい場合は手順 **3** (停止画面)のとき **続き再生解除** をタッチし、**▶||** (再生) をタッチしてください。

再生を一時停止(静止)する

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **▶||** (再生／一時停止)をタッチする。

: 映像を停止(静止)します。(音声も止まります。)

一時停止アイコン

操作ボタン1表示画面



▶|| ボタン(再生／一時停止)

3 再度再生を始めるには、

▶|| (再生／一時停止)をタッチする。

: 再生を止めた続きから再生します。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、

ボタン消 をタッチする。

再生中にチャプターを戻す／進める

1 **◀◀** / **▶▶** を押す。

: 前のチャプターに戻る、または次のチャプターに進みます。

■ 前のチャプターに戻る

◀◀ を2回押す。

※ 1回押した場合は再生中のチャプターの初めに戻ります。チャプター再生開始からすぐに押した場合は、前のチャプターの初めに戻ります。

■ 次のチャプターに進む

▶▶ を押す。



アドバイス

- チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。
- **◀◀** / **▶▶** を長押しすると早戻し／早送りします。

DVDプレーヤーを使う

スロー戻し／スロー送りをする

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **▶||** (再生／一時停止) をタッチする。



3 **◀◀** / **▶▶** を長押しする。

スロー戻し	◀◀ を長押し ：スロー戻しで戻ります。
スロー送り	▶▶ を長押し ：スロー送りで進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドハイス

- スロー戻し／スロー送り中は音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。
- VRモードでは、スロー戻しに対応していません。

DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューから好きなシーンを選んで再生することができます。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **メニュー** をタッチする。

：DVDメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はプレイリストが表示されます。
([?] N-16)

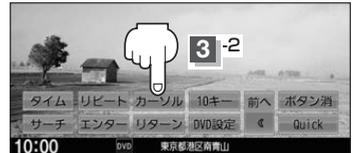
操作ボタン1表示画面



3 **次へ** をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面

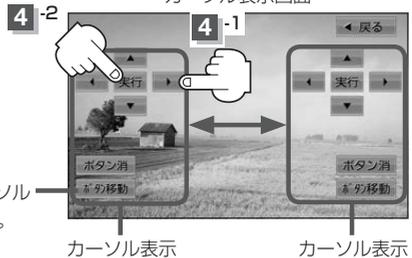


4 **▲ ▼ ◀ ▶** (カーソルキー) をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、手順4を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。



5 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバース

ディスクによっては手順4のカーソルを表示しなくても、画面に表示された項目をダイレクトにタッチして、操作できる場合があります。(その場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)

DVDプレーヤーを使う



アドバイス

- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選んだり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※ VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」などと表示しているものもあります。
また、N-7手順 **4** で **実行** のことを「決定ボタンを押す」/「選択ボタンを押す」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ DVDメニューからリジューム再生を行う

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は **前へ** や **戻る** をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、**MENU** を押ししてください。

② **リジューム** をタッチする。

：DVDメニュー(またはプレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューから好きなシーンを選んで再生することができます。

※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **タイトル** をタッチする。

: タイトルメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はタイトルリストが表示されます。
(N-16)

操作ボタン1表示画面



3 **次へ** をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル** をタッチする。

: カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面

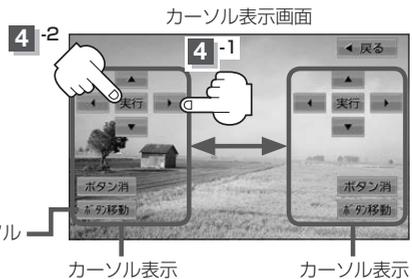


4 **▲▼◀▶** (カーソルキー) をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

: 選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、手順 **4** を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。



5 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



ディスクによっては手順 **4** のカーソルを表示しなくても、画面に表示された項目をダイレクトにタッチして、操作できる場合があります。(その場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)

DVDプレーヤーを使う



アドバイス

- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターを選んだり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※ VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合タイトルリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「タイトルメニュー」のことを「メニュー」、「タイトル」などと表示しているものもあります。また、N-9手順 **4** で **実行** のことを「決定ボタンを押す」/「選択ボタンを押す」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ タイトルメニューからリジューム再生を行う

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は **前へ** や **戻る** をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、**MENU** を押ししてください。

② **リジューム** をタッチする。

：タイトルメニュー(またはタイトルリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターを入力すると、そこから再生を始めます。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **次へ** をタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 **サーチ** をタッチする。

: サーチ選択画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



4 サーチ選択画面で **0** ~ **9** (10キー) をタッチして、再生したいチャプター／タイトルを入力する。

- タイトル、チャプターは **切替** をタッチし切り替えて入力します。

チャプターサーチ → タイトルサーチ
← 非表示 ←

サーチ選択画面



モード表示 **0** ~ **9** ボタン(10キー)

例 チャプター番号“04”を入力する場合

① 10キーを **0**、**4** とタッチする。

: 表示が“04”となります。



DVDプレーヤーを使う

5

実行 をタッチする。

: 入力したチャプター番号／タイトル番号から再生を始めます。



6

画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバイス

- しばらく何も操作をしなかった場合、モード表示は消えます。その場合は、**切替** をタッチし、再度手順 **4** (**戻る** N-11) からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、**切替** をタッチし、再度手順 **4** (**戻る** N-11) からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないチャプター／タイトルを入力すると、この操作は解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

音声言語／字幕言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものがあります。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **音声** または **字幕** をタッチする。

：タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。

操作ボタン1表示画面



音声言語リスト



字幕言語リスト



3 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバース

- 収録されている音声によっては再生できない音声があります。その場合は他の音声に切り替えてください。
- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニューや言語設定(ⓁⓂ N-20)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1、2)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニューまたは言語設定で切り替えてください。

DVDプレーヤーを使う

TITLE / CHAPTER / TIMEの表示を替える

- TITLEタイトル番号を表示
- CHAPTER.....チャプター番号を表示
- TIME.....再生時間を表示

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **次へ** をタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面

3 **タイム** をタッチする。

: タッチすることに表示が切り替わります。

操作ボタン2表示画面



4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、

ボタン消 をタッチする。

■ 表示をやめる

上記手順 **1** ~ **3** に従って操作し、表示をやめてください。

リピート(繰り返し)再生する

再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

- CHAPTER REPEAT……………再生中のチャプターを繰り返す
- TITLE REPEAT……………再生中のタイトルを繰り返す
- REPEAT OFF……………リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **次へ** をタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 **リピート** をタッチする。

：タッチすることによりモードが切り替わります。

リピート
モード表示

操作ボタン2表示画面



4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。

■ 通常の再生に戻す

上記手順 **1** ～ **3** に従って操作し、“REPEAT OFF” を選ぶ。

DVDプレーヤーを使う

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあり、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **アングル** をタッチする。

: タッチすることによりアングルが切り替わります。

3 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。

アドバイス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、**アングル** を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

VRモードディスク内の映像をリストより選び、再生させる

DVD-R/RW、DVR-R DL(VRモード)に登録したタイトル名を各リストより選び、再生させることができます。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 タイトルリストまたはプレイリストを表示する。

タイトルリストより選ぶ	タイトル をタッチする。 : タイトルリストが表示されます。
プレイリストより選ぶ	メニュー をタッチする。 : プレイリストが表示されます。



アドバイス

タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順に編集したものをあらわします。

※タイトル名はDVDレコーダーで編集することができます。タイトルリスト/プレイリストの詳細はDVDレコーダーの説明書を参照ください。

3

リストより再生したいタイトル名をタッチする。

: 選んだ項目が再生されます。

タイトルリスト表示



タイトルリスト画面のとき **プレイリスト** をタッチするとプレイリスト画面を表示

プレイリスト表示



プレイリスト画面のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリスト画面を表示



アドバイス

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、**メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合(リジューム再生する場合は**戻る** をタッチしてください)。
- VRモードディスク再生中に操作ボタン1の**音声** をタッチすると、音声チャンネルを切り替えることができます。

初期設定を変更する

再生中または再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **次へ** をタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 **DVD設定** をタッチする。

: DVD設定画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



アトハイス

■ (停止) → **DVD設定** をタッチしてDVDの初期設定を変更することもできます。

操作ボタン1表示画面



停止画面



DVD設定 ボタン

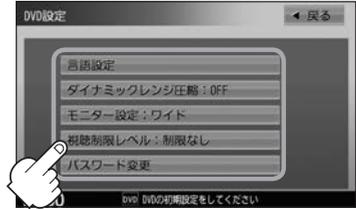
※ **DVD設定** を変更した場合、設定内容によっては、続き再生メモリ機能が解除される場合があります。この場合、ディスクの先頭からの再生となります。

4

画面の設定したい項目をタッチする。

：選んだ項目の設定画面が表示されます。

DVD設定画面



選んだ項目	設定できる内容	操作手順
言語設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声言語 ：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ● 字幕言語 ：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え ● メニュー言語 ：DVDメニューの表示言語の切り替え 	☞ N-20
ダイナミックレンジ圧縮	<ul style="list-style-type: none"> ● DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。(ドルビーデジタルの音声のみ) 	☞ N-23
モニター設定	<ul style="list-style-type: none"> ● TVアスペクト ：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え 	☞ N-23
視聴制限レベル	<ul style="list-style-type: none"> ● レベル ：視聴制限レベルの設定 	☞ N-24
パスワード変更	<ul style="list-style-type: none"> ● パスワード ：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更 	☞ N-25



アドバイス

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。この場合はDVDメニューで切り替えてください。
- 各設定画面のとき1つ前の選択画面に戻る場合や、設定を終わったり途中でやめる場合は **戻る** をタッチしてください。
※停止画面のとき再度再生させる場合は **▶||** (再生) をタッチしてください。



■ 手順 4 で“言語設定”を選んだとき

5

音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更
したい項目をタッチする。

音声言語	DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替え
字幕言語	DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語を切り替え
メニュー言語	DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替え



設定されている言語を表示
(タッチすると言語コード入力画面
を表示)
言語が **オリジナル** または **OFF** に
設定されている場合は **言語を選択**
と表示

□ 言語を変更するには

: 選んだ言語の言語コード入力画面が表示
されます。

- ① 言語コードの数字を **0** ~ **9**
(10キー)をタッチして入力する。

言語コード表 ㊦ N-22



0 ~ **9** ボタン(10キー)

- ② 入力が終わったら **決定** をタッチする。



■ 言語設定を初期値に戻す

言語設定画面で **初期値** をタッチする。

：変更した言語設定がお買い上げ時に戻ります。



アドバイス

- DVD設定を変更すると、設定内容によっては続きメモリー機能が解除される場合があります。この場合、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。再度正しいコードを入力してください。
- 入力した数字を訂正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- お買い上げ時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- **オリジナル** を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語”のとき、優先する字幕言語を **OFF** にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

DVDの初期設定について

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語	
1027	AA	アフガル語	1239	IE	国際語	
1028	AB	アブバジア語	1245	IK	Inupiak 語	
1032	AF	アフリカーンス語	1248	IN	インドネシア語	
1039	AM	アムハラ語	1253	IS	アイスランド語	
1044	AR	アラビア語	1254	IT	イタリア語	
1045	AS	アッサム語	1257	IW	ヘブライ語	
1051	AY	アイマラ語	1261	JA	日本語	
1052	AZ	アゼルバイジャン語	1269	JI	イディッシュ語	
1053	BA	バシキール語	1283	JW	ジャワ語	
1057	BE	ベラルーシ語	1287	KA	グルジア語	
1059	BG	ブルガリア語	1297	KK	カザフ語	
1060	BH	ビハーリー語	1298	KL	グリーンランド語	
1061	BI	ビスラマ語	1299	KM	カンボジア語	
1066	BN	ベンガル、バングラ語	1300	KN	カナダ語	
1067	BO	チベット語	1301	KO	韓国語	
1070	BR	ブルトン語	1305	KS	カシミール語	
1079	CA	カタロニア語	1307	KU	クルド語	
1093	CO	コルシカ語	1311	KY	キルギス語	
1097	CS	チェコ語	1313	LA	ラテン語	
1103	CY	ウェールズ語	1326	LN	リンガラ語	
1105	DA	デンマーク語	1327	LO	ラオス語	
1109	DE	ドイツ語	1332	LT	リトアニア語	
1130	DZ	ブータン語	1334	LV	ラトビア、レット語	
1142	EL	ギリシャ語	1345	MG	マダガスカル語	
1144	EN	英語	1347	MI	マオリ語	
1145	EO	エスペラント語	1349	MK	マケドニア語	
1149	ES	スペイン語	1350	ML	マラヤーラム語	
1150	ET	エストニア語	1352	MN	モンゴル語	
1151	EU	バスク語	1353	MO	モルダビア語	
1157	FA	ペルシャ語	1356	MR	マラータ語	
1165	FI	フィンランド語	1357	MS	マレー語	
1166	FJ	フィジー語	1358	MT	マルタ語	
1171	FO	フェロー語	1363	MY	ミャンマ語	
1174	FR	フランス語	1365	NA	ナウル語	
1181	FY	フリジア語	1369	NE	ネパール語	
1183	GA	アイルランド語	1376	NL	オランダ語	
1186	GD	スコットランドゲール語	1379	NO	ノルウェー語	
1194	GL	ガルシア語	1393	OC	プロバンス語	
1196	GN	グアラニ語	1403	OM	(アフアン) オロモ語	
1203	GU	グジャラート語	1408	OR	オリヤー語	
1209	HA	ハウサ語	1417	PA	パンジャブ語	
1217	HI	ヒンディー語	1428	PL	ポーランド語	
1226	HR	クロアチア語	1435	PS	パシュトー語	
1229	HU	ハンガリー語	1436	PT	ポルトガル語	
1233	HY	アルメニア語	1463	QU	ケチュア語	
1235	IA	国際語	1481	RM	ラエティ=ロマン語	
				1482	RN	キルンディ語
				1483	RO	ルーマニア語
				1489	RU	ロシア語
				1491	RW	キニヤルワンダ語
				1495	SA	サンスクリット語
				1498	SD	シンド語
				1501	SG	サンゴ語
				1502	SH	セルビアクロアチア語
				1503	SI	シンハラ語
				1505	SK	スロバキア語
				1506	SL	スロベニア語
				1507	SM	サモア語
				1508	SN	ショナ語
				1509	SO	ソマリ語
				1511	SQ	アルバニア語
				1512	SR	セルビア語
				1513	SS	シスワティ語
				1514	ST	セストゥ語
				1515	SU	スンダ語
				1516	SV	スウェーデン語
				1517	SW	スワヒリ語
				1521	TA	タミール語
				1525	TE	テルグ語
				1527	TG	タジク語
				1528	TH	タイ語
				1529	TI	ティグリニャ語
				1531	TK	トゥルクメン語
				1532	TL	タガログ語
				1534	TN	セツワナ語
				1535	TO	トンガ語
				1538	TR	トルコ語
				1539	TS	ツォンガ語
				1540	TT	タタール語
				1543	TW	トウイ語
				1547	UK	ウクライナ語
				1564	UR	ウルドゥー語
				1572	UZ	ウズベク語
				1581	VI	ベトナム語
				1587	VO	ボラビュク語
				1613	WO	ウォロフ語
				1632	XH	コーサ語
				1664	YO	ヨルバ語
				1685	ZH	中国語
				1697	ZU	ズール語

■ 手順4 で“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだとき

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

5

- ① **ダイナミックレンジの圧縮をする／しないの設定をする。**

ON	小さい音量でも迫力ある音で楽しみたいとき
OFF	標準音域で聞きたいとき



- ② **閉じる** をタッチする。

: DVD設定画面に戻ります。

■ 手順4 で“モニター設定”を選んだとき

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

5

- ① **設定したいアスペクト比をタッチする。**

※ 16:9ワイドスクリーン／4:3レターボックス／4:3パン&スキャンとなります。

- ② **閉じる** をタッチする。

: DVD設定画面に戻ります。



アドバイス

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にノーマルモニターを接続してご使用のときに、**ワイド** に設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、**レターボックス** または **パン&スキャン** に設定してください。(※この場合は、本機のディスプレイ選択を **ノーマル** [H-12] に設定しないと不自然な画像となります。)
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、ワイドモニターを“フル”またはこれに相当するモードにして、本機を **レターボックス** または **パン&スキャン** に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、**レターボックス** や **パン&スキャン** の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4:3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば“ノーマルモード”など)に設定してください。

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

DVDの初期設定について

■ 手順 4 で“視聴制限レベル”を選んだとき

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

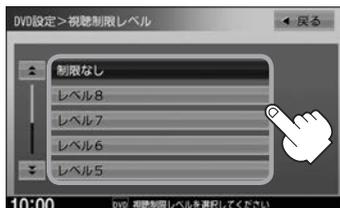
5

① 下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。

：レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

視聴制限レベル	“制限なし”	視聴制限を無効
	“8”	全てのDVDビデオの再生可
	“7”	子供向／一般向のみ再生可
	“6”	
	“5”	
	“4”	
	“3”	子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)
	“2”	
“1”		

下にいくほど制限が厳しくなります。



※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“制限なし”を選んでください。

② 現在のパスワードを **0** ~ **9** (10キー)をタッチして入力する。

0 ~ **9** ボタン(10キー)

③ 入力が終わったら **決定** をタッチする。

アドバイス

- 間違ったパスワードを入力するとエラーメッセージが表示されます。再度正しいパスワードを入力してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
※お買い上げ時のパスワードは“0000”となっています。
(パスワードは変更することができます。[?] N-25)
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。
- お買い上げ時の視聴制限レベルは“制限なし”となっています。
- 上記の設定後に、視聴制限のデータが入ったDVDビデオを挿入すると、確認画面が表示されます。
はい を選ぶと上記のパスワード入力画面が表示されます。入力したパスワードが正しいと、DVDビデオが再生されます。

■ 手順 4 で“パスワード変更”を選んだとき

5

① 現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を **0** ~ **9** (10キー) をタッチして入力する。

② **決定** をタッチする。

: DVD 設定画面に戻ります。



デトハイス

- 入力した数字を訂正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- お買い上げ時のパスワードは“0000”に設定されています。

0

ワンセグを見る

VXM-145VSi
VXM-145VS

各部のなまえとはたらき	0-2
バナー表示について	0-2
タッチパネル部について	0-3
ワンセグメニューについて	0-4
ワンセグを見る	0-5
中継・系列局サーチをする	0-6
番組表を見る	0-7
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする	0-8
スキャンする	0-10
初期スキャン／再スキャンをする	0-10
選局する	0-12
手動選局で放送局を選ぶ	0-12
自動選局で放送局を選ぶ	0-12
プリセットで放送局を選ぶ	0-13
リストで放送局を選ぶ	0-14

プリセットボタンにメモリーする	0-16
エリア呼出／プリセット呼出について	0-17
チャンネルリスト／プリセットリストを クリアする	0-18
設定をする	0-19
中継・系列局サーチ設定	0-19
音声と字幕の設定をする	0-20
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、 受信する	0-21
設定を初期化する	0-22

映像

T
V

バナー表示について

地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)を選局したときや受信中に画面をタッチすると、画面に下のような表示が現われます。これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が表示されます。



① チャンネル番号

② 電波状態表示

：本数が多いほど受信状態は良好です。

③ 放送局名

※マルチサービスを受信しているときは、放送局名の後ろにサービス番組が表示されます。

④ 番組名および記号

番組の名称を表示します。

また、下記記号が番組名の前／後に表示されることがあります。

(例)

番組連動データ放送

字幕放送

サラウンドステレオ音声

音声多重放送

再放送

ステレオ放送

音声解説

吹き替え

ワイド放送

マルチビューテレビ放送 …など

※記号は放送局側で付けられています。

※上記以外の記号もあります。

タッチパネル部について

画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が数秒間表示されます。

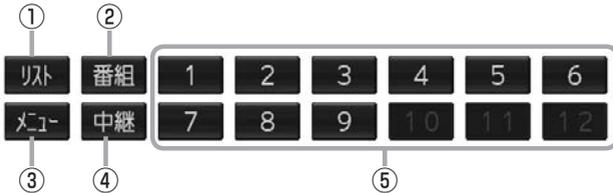
※操作ボタンの表示をやめるには、もう一度画面をタッチするか表示が消えるまで待ちます。



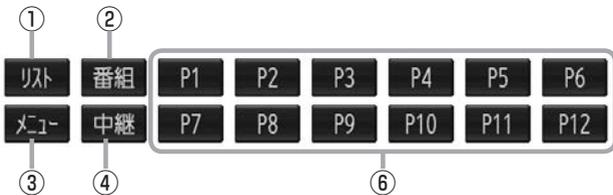
操作ボタンは、チャンネルリストまたはプリセットリストのどちらかを設定しているかによって表示内容(機能)が異なります。[] O-14、O-15

操作ボタン

チャンネルリスト 設定中の場合



プリセットリスト 設定中の場合



- ① **リスト** ボタン
チャンネルリストまたはプリセットリスト画面を表示します。
[] O-14
- ② **番組** ボタン
番組表を表示します。
[] O-7
- ③ **メニュー** ボタン
ワンセグメニュー画面を表示します。
[] O-4
- ④ **中継** ボタン
中継・系列局をサーチします。
[] O-6
- ⑤ **1 ~ 12** ボタン(エリア)
あらかじめメモリーされている放送局を呼び出すことができます。
[] O-13
- ⑥ **P1 ~ P12** ボタン(プリセット)
プリセットリスト画面でメモリーしたチャンネルを呼び出すことができます。
※ボタンにはメモリーした放送局の物理チャンネル(13~52 ch)が表示されます。
[] O-13

各部のなまえとはたらき

ワンセグメニューについて

画面をタッチして操作ボタンを表示させているとき、**メニュー** をタッチするとワンセグメニュー画面を表示させることができます。ワンセグの各機能や設定はこのワンセグメニューを使って行います。



- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① エリア変更 ボタン
視聴エリアを変更します。
[?] 0-8</p> <p>② 設定 ボタン
中継・系列局サーチ設定 [?] 0-19</p> <p>③ 音声字幕 ボタン
音声設定、字幕設定をすることができます。
[?] 0-20</p> <p>④ スキャン ボタン
初期スキャン／再スキャンをすることができます。
[?] 0-10</p> | <p>⑤ 受信レベル確認 ボタン
受信レベルの確認をすることができます。
[?] 0-21</p> <p>⑥ システム情報 ボタン
メモリの初期化をすることができます。
[?] 0-22</p> <p>⑦ 戻る ボタン
受信画面または1つ前の画面に戻ります。</p> <p>⑧ 操作状態を表示</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

ワンセグを見る

VXM-145VSi

VXM-145VS

AUDIOメニュー(「 A-12」)から「1SEG」をタッチすると、地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)画面が表示されます。



映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
(走行中は音声のみになります。)

GPSから得たお車の位置に自動でワンセグの視聴エリアの変更を行い、また中継・系列局サーチ機能により放送が受信できるまでサーチ(探索)を行います。



中継・系列局サーチの設定で“自動”を選んでいる場合
「 O-19(初期は自動に設定)

※受信できない場合や、視聴エリアを手動で変更する場合は、
視聴エリアの変更を行って地方と県域を設定してください。
「 「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」 O-8

映像

T
V

中継・系列局サーチとは、走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、受信していた放送局の中継局またはその系列局が受信可能になるまで選局し続ける機能です。

もとの放送局に中継局がある場合、その中継局の選局をしたり、エリア内に同じ系列に属する放送局があった場合、これを選局したりしてサーチ動作を続けます。

1 自動／手動で中継・系列局をサーチする。

■ 中継・系列局サーチを自動でする

：受信できなくなると、自動で中継・系列局をサーチします。

■ 中継・系列局サーチを手動でする

① 画面をタッチし、**中継**をタッチする。



中継・系列局サーチ中画面



：受信状態にかかわらず、すぐに中継・系列局をサーチします。



アドバイス

サーチ中に **⏮** / **⏭** (選局) を押す、または **1** ~ **12** (エリア) / **P1** ~ **P12** (プリセット) をタッチするとサーチは止まり、要求された選局を行います。

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする

VXM-145VSi

VXM-145VS

初期設定のエリア変更は「自動」に設定されています。



お車の走行地域が変わっても、本機は自動で視聴エリアの変更を行います。GPSで現在位置が受信できない場合や、手で地域と県域を設定する場合は下記に従って操作してください。

現在地によって受信できる放送局(1～12(エリア)に割り当てられる放送局)が異なります。

1 画面をタッチし、**メニュー**をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



2 **エリア変更**をタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。



3 **手動**をタッチする。

：視聴エリア(地方)が選択可能となります。

■ エリア変更を“自動”にする

① 右記画面のとき**自動**をタッチする。

： “自動” に設定されます。



4

現在地の地方と県域をタッチする。

視聴エリア変更画面(地方選択時)



視聴エリア変更画面(県域選択時)



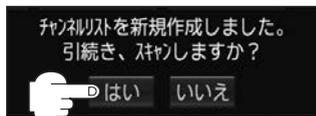
選んだ地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて **1** ~ **12** (エリア)にプリセット(メモリー)されます。

※選んでいる地域で放送されている放送局をすべてプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

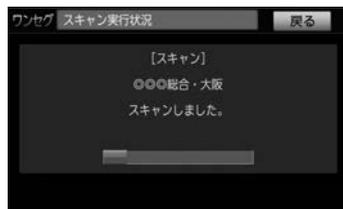
: 現在地を変更し、メッセージが表示されます。

■ スキャンを行う

① **はい** をタッチする。



: スキャンを開始します。



※スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ スキャンを行わない

① **いいえ** をタッチする。

: スキャンをしないで受信画面を表示します。



アドバイス

- 視聴エリアを変更した場合は **はい** をタッチしスキャンすることをおすすめします。
- スキャンを行うと視聴エリア(チャンネルリスト、**1** ~ **12** (エリア))にプリセット(メモリー)された局の中継局をスキャン(探索)します。
※現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときは再スキャンを行ってください。[電] 0-10

初期スキャン／再スキャンをする

1 画面をタッチし、メニューをタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



2 スキャンをタッチする。

：スキャン画面が表示されます。



3 初期スキャン／再スキャンを選ぶ。

■ 初期スキャンをする

① 初期スキャンをタッチする。



：受信可能なチャンネルを探し、受信可能なチャンネルをプリセット（メモリー）します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

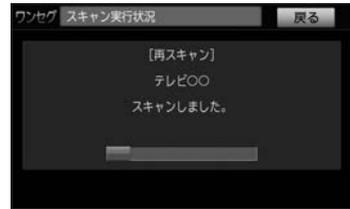


初期スキャンを行うと視聴エリア（チャンネルリスト、**1**～**12**（エリア）にメモリーされるエリア）が最新の状態となります。

■ 再スキャンをする

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときに行います。

① 再スキャン をタッチする。



：新たに受信可能なチャンネルを探し、追加でプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。



アドバンス

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- 走行地域によって複数の地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。チャンネル番号が重複して枝番号が追加された場合など **1** ~ **12** (エリア)にプリセット登録されない番組もあります。

チャンネルを選びます。(手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局)

手動選局で放送局を選ぶ

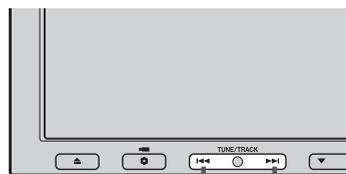
1

⏪ / ⏩ を押す。



アドバース

地域によっては同じチャンネル番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。その場合、ボタンを押すごとにプリセット(メモリー)されている放送局に順に変わります。



⏪ / ⏩ ボタン

⏪ 側ダウン
⏩ 側アップ

自動選局で放送局を選ぶ

1

⏪ / ⏩ を長押しする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に ⏪ / ⏩ を押すと、自動選局は止まり、⏩ を押した場合はチャンネルリストの先頭、⏪ を押した場合はチャンネルリスト最後尾の放送局を選局します。



アドバース

- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。この場合、全チャンネルを一通りシーク(探し求めた)後、自動選局は止まります。

プリセットで放送局を選ぶ

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって **1** ~ **12** (エリア) にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、お好きな放送局をお客様ご自身が **P1** ~ **P12** (プリセット) にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。

※あらかじめ **1** ~ **12** (エリア) / **P1** ~ **P12** (プリセット) に放送局をメモリーしておく必要があります。

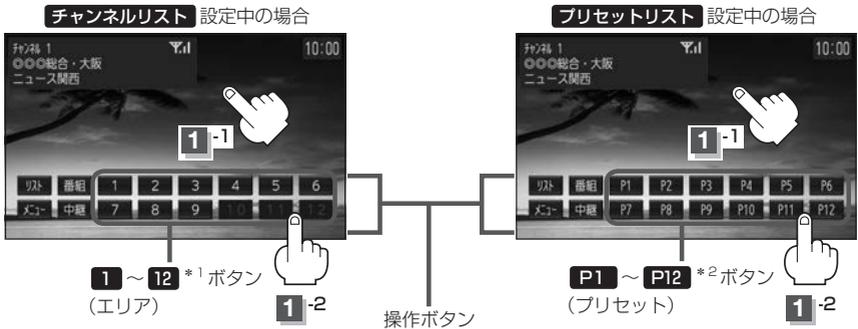
☞ 「視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする」O-8

☞ 「スキャンする」O-10

☞ 「プリセットボタンにメモリーする」O-16

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**1** ~ **12** (エリア) または **P1** ~ **P12** (プリセット) の中で呼び出したい数字をタッチする。



: 選んだボタンにメモリーされている放送局を受信します。

* 1...放送局が割り当てられていないボタンは選べません。

* 2... **P1** ~ **P12** は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示(**13ch** ~ **52ch**)となります。



アドバイス

- **1** ~ **12** (エリア) に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その **1** ~ **12** (エリア) をタッチすることに設定されたチャンネルを順に選局します。
- **1** ~ **12** (エリア) / **P1** ~ **P12** (プリセット) に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト画面/プリセットリスト画面(☞ O-15)より確認できます。

映像
TV

選局する

リストで放送局を選ぶ

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。

チャンネルリスト	視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧
プリセットリスト	お客様ご自身がお好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

☞ 「視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする」0-8

☞ 「スキャンする」0-10

☞ 「プリセットボタンにメモリーする」0-16

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
リスト をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。



2

チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出す。

■ チャンネルリストより放送局を呼び出す

① リストより呼び出したい放送局をタッチする。

チャンネルリスト画面



現在の設定内容(エリア番号と放送局名の組み合わせ)を確認できます。

：選んだ放送局を受信します。



- プリセットリスト(右記)が表示された場合は **チャンネルリスト** をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。
- 視聴エリアの変更で自動に設定されている場合は、チャンネルリスト/**1** ~ **12** (エリア)は自動で変更されます。

■ プリセットリストより放送局を呼び出す場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

② リストより呼び出したい放送局をタッチする。



：プリセットリスト画面が表示されます。

P1～P12表示 放送局名と物理チャンネル

現在の設定内容(プリセット番号と放送局名と物理チャンネルの組み合わせ)を確認できます。

：選んだ放送局を受信します。



- チャンネルリストは操作ボタンの **1** ～ **12** (エリア)にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。
※地域によっては同じ番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。



エリア番号 放送局名



1 ～ **12** ボタン(エリア)

- プリセットリストは操作ボタンの **P1** ～ **P12** (プリセット)にメモリーされているプリセット番号と放送局名/物理チャンネルを表示します。



プリセット番号 放送局名/
物理チャンネル



P1 ～ **P12** ボタン
(プリセット)

※メモリーされていない場合、リストに表示されません。

- 表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、チャンネルリスト/プリセットリストのどちらが表示されるか状態によって異なります。
- チャンネルリスト/プリセットリストは何も操作しなかった場合、しばらくすると消えます。

プリセットボタンにメモリーする

VXM-145VSi

VXM-145VS

プリセット選局(☞ 0-13)やリスト選局(☞ 0-14)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

1

◀▶ を押して、メモリーしたい放送局を選局する。

☞ 「手動選局で放送局を選ぶ」 / 「自動選局で放送局を選ぶ」 0-12

2

プリセットリストを呼び出す。

☞ 「リストで放送局を選ぶ」 0-14

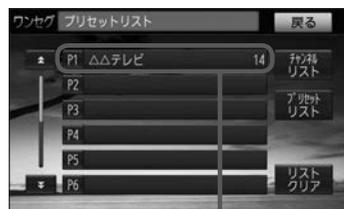
3

プリセットリストのメモリーしたい P1～P12 を放送局名が表示されるまで長押しする。

：選んだボタンに放送局がメモリーされます。



P1 に14チャンネルをプリセット (メモリー)した場合



メモリーした放送局が表示されます。



すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。

エリア呼出／プリセット呼出について

画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。

チャンネルリスト設定中(☞ 0-14)に
画面をタッチすると



1 ~ **12** (エリア)が表示される

プリセットリスト設定中(☞ 0-15)に
画面をタッチすると



P1 ~ **P12** (プリセット)が表示される

※ **1** ~ **12** (エリア)には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。

P1 ~ **P12** (プリセット)は、お客様ご自身がお好きな放送局をメモリーします。☞ 0-16
メモリーしたボタンは物理チャンネルの表示に変わります。たとえば **P1** に38チャンネルを
プリセットすると **P1** は **38ch** 表示になります。

※操作ボタンの表示は **チャンネルリスト** / **プリセットリスト** のどちらを選んだかによって表示が異なります。

チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする

VXM-145VSi

VXM-145VS

1

画面をタッチし、**リスト**をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

1-2



2

チャンネルリストまたはプリセットリストをクリアする。

■ チャンネルリストをクリアする

① **リストクリア**をタッチする。

チャンネルリスト画面



：メッセージが表示されるので**はい**をタッチするとチャンネルリストがクリアされます。(視聴エリアのチャンネルリストをセットします。)



プリセットリストが表示された場合は**チャンネルリスト**をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。

■ プリセットリストをクリアする

① **プリセットリスト**をタッチする。

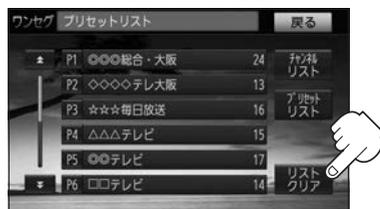
チャンネルリスト画面



：プリセットリスト画面が表示されます。

② **リストクリア**をタッチする。

プリセットリスト画面



：メッセージが表示されるので**はい**をタッチすると、プリセットリストがクリアされます。(全ての登録内容が空白になります。)



チャンネルリスト／プリセットリストは何も操作しなかった場合、しばらくすると消えます。

中継・系列局サーチ設定

お車の走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、“自動で中継・系列局サーチを起動”するかどうかの設定をすることができます。

1 画面をタッチし、**メニュー**をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



2 **設定**をタッチする。

：設定画面が表示されます。



3 自動／手動の設定をする。

■ **自動**をタッチ

：受信できない状態が一定時間以上続くと、自動で中継局と系列局を探します。

※受信していた放送局に受信可能な中継局、または現在地の視聴エリアに同じ系列に属する系列局がある場合、受信可能となるまでサーチし続けます。

■ **手動**をタッチ

：放送局が受信できなくなった場合、メッセージが表示されます。



設定をする

音声と字幕の設定をする

数種類の音声と同時に放送されている番組では、本機で音声を切り替えることができます。また映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

1 画面をタッチし、**メニュー**をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

2 **音声字幕**をタッチする。

：音声／字幕設定画面が表示されます。



3 音声または字幕の設定をする。

■ 音声の設定をする

- ① **音声1**／**音声2** および **主**／**副**／**主+副**をタッチする。

※複数音声放送と二重音声放送の場合に有効となります。



■ 字幕の設定をする

- ① **字幕1**／**字幕2**をタッチする。

※字幕がある番組の場合に有効となります。



字幕の表示をやめるときは **字幕なし** をタッチしてください。



- 字幕の大きさや位置は番組によって異なります。本機で変更することはできません。
- 番組によっては、字幕が音声より遅れて表示されます。

受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

チャンネルを入力して受信可能な放送局かどうかを確認することができます。また、受信状態を確認することもできます。

1 画面をタッチし、**メニュー** をタッチする。

: ワンセグメニュー画面が表示されます。



2 **受信レベル確認** をタッチする。

: 受信レベル確認画面が表示されます。



3 **ch-** / **ch+** をタッチする。

: タッチするたびに1チャンネルずつ変わります。
13~52ch(物理チャンネル)の中から確認したいチャンネルを選んでください。



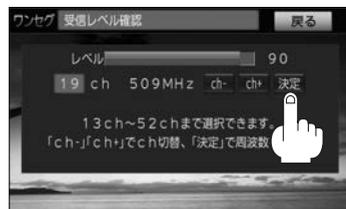
チャンネル表示
(物理チャンネル 13ch~52ch)

周波数表示

映像
TV

4 **決定** をタッチする。

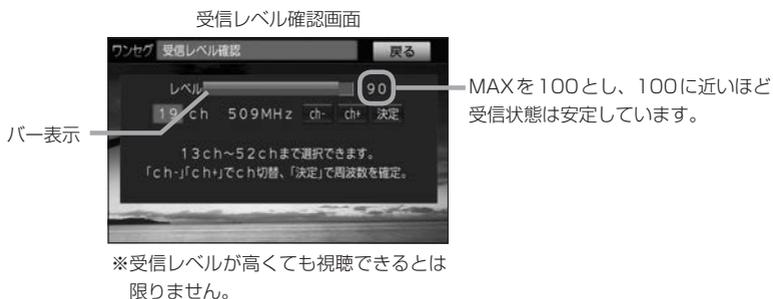
: チャンネルを確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネルの放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。



設定をする



- 受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を確認することができます。



設定を初期化する

ワンセグメニューで変更した各種設定内容を初期化することができます。

1 画面をタッチし、**メニュー** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



2 **システム情報** をタッチする。

：システム情報画面が表示されます。



3 **メモリ初期化** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** を画面に従ってタッチすると、設定内容を初期化します。



4 初期化を終えたら、メッセージが表示されるので **OK** をタッチする。



アドバイス

他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化**を行い、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。



お願い

- 初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。
故障の原因となります。
- 初期化を行うと設定やデータは消去され、二度と復帰しません。

P

VTR / AUX を使う

各部のなまえとはたらき	P-2
接続する	P-3

各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー(☰ A-12)から **VTR** をタッチすると、再生画面が表示されます。

VTR/AUXソース画面



- ① 操作ボタンを非表示
※操作ボタンを表示するには、画面をタッチします。
- ② Quick MENUを表示

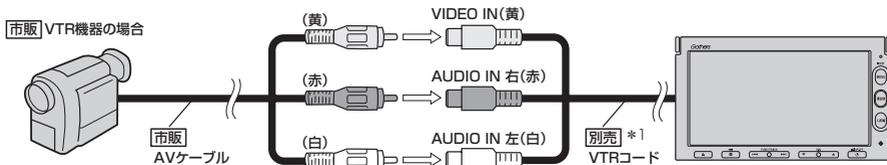
接続する

市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。

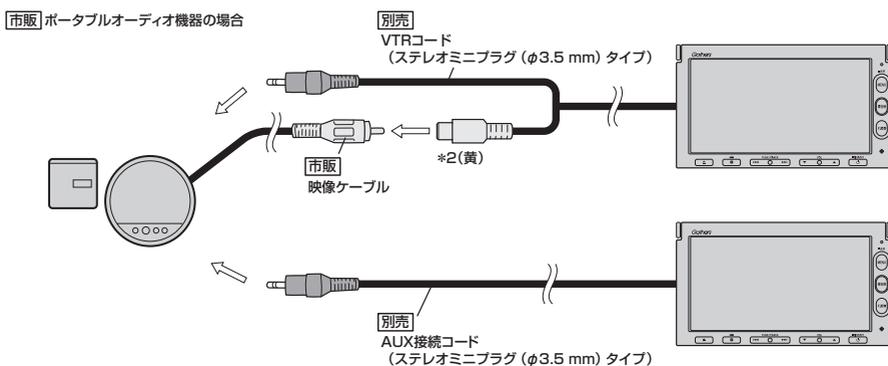
※接続の前に車のエンジンスイッチを0(ロック)にし、接続する機器の電源を切ってください。

1 機器を接続する。

VTR機能	別売のVTRコードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続
AUX機能	別売のAUX接続コードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器を接続



* 1…VTRコードにiPod接続コード(別売)が接続されている場合は外してください。[P] L-13イラスト



* 2…DVDプレーヤーなどの場合に使用します。

2 本機と使用する機器の電源を入れ、本機をVTRソースに切り替える。

3 VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

接続する



アドバイス

- 接続される機器の電源をOFF にしてから、本機の電源をOFF(エンジンスイッチを0(ロック))にしてください。
- VTR/AUX端子から入力された映像や音声はVTRソースで視聴できます。
- VTR/AUXの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子

映像入力レベル	1 Vpp(入カインピーダンス75 Ω)
音声最大入力レベル	2.0 V(入カインピーダンス47 kΩ)

Q

ハンズフリーを使う

初期登録設定	Q-2
携帯電話を登録する	Q-2
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する	Q-5
携帯電話の割り当てを切り替える	Q-6
登録した携帯電話の自動接続を設定する	Q-7
登録した携帯電話の優先接続の設定をする	Q-8
車載機(本機)のBLUETOOTH情報を 確認／変更する	Q-9
ハンズフリーの通話設定をする	Q-11
携帯電話のメモリを本機に登録する	Q-12
電話を受ける	Q-14
着信音量を調整する	Q-14
電話に出る	Q-14
保留にする	Q-15
通話を拒否(終了)する	Q-16
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする (ミュート)	Q-16
通話を携帯電話に切り替える	Q-17
トーン入力する	Q-18

電話をかける	Q-19
電話番号から	Q-19
リダイヤルから	Q-20
履歴から	Q-21
アドレス帳から	Q-22
発着履歴を削除する	Q-24
通話中に地図画面を表示する	Q-24
QQコールを利用する	Q-25
QQコールとは	Q-25
QQコールを利用するまでの流れ	Q-25
QQコールを表示する	Q-25
Siri Eyes Free機能を使う	Q-27
準備する	Q-27
使用する	Q-27

初期登録設定

BLUETOOTH対応携帯電話を使用するには、はじめに初期登録(携帯電話の登録)をする必要があります。また、音量調整/登録削除/電話の切り替えなどの各設定をすることができます。

ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。

携帯電話を登録する

使用する携帯電話を本機に登録します。

1 **MENU** を押し、**携帯電話** → **設定** → **携帯電話機器登録** をタッチする。

※ VX-M-145C をご使用の場合は、手順 **3** へお進みください。

※ **携帯電話機器登録** は端末が追加登録可能な場合に選べます。



2 **ハンズフリー** をタッチする。

: 携帯電話会社設定画面が表示されます。

※ **ハンズフリー** は端末が追加登録可能な場合に選べます。

3 登録する携帯の会社名(種類)をタッチする。

※ 携帯電話の会社名を選ぶことで、その会社に応じた通話品質向上のための設定が自動で行われます。

: 接続待機中画面が表示されます。

※すでに登録済み(BLUETOOTH接続済み)の携帯電話(番号)がある場合、メッセージが表示されるので“はい”を選んでください。

“はい”を選ぶと現在接続中の携帯電話との通信を切断し、接続待機中画面が表示されます。“いいえ”を選んだ場合は登録作業を中断し、携帯電話会社設定画面に戻ります。(登録できる携帯電話は2台までですが、BLUETOOTHに接続できる携帯電話は1台のみとなります。そのため切断するかどうかの操作が必要となります。)

携帯電話会社設定画面



ご使用の携帯電話がドコモ/au/ソフトバンク以外の場合、**その他**を選んでください。本機にて接続を確認している携帯電話は、下記ホームページをご確認ください。
<http://www.honda.co.jp/navi/support/>

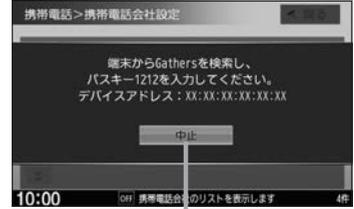
4

携帯電話側を操作してハンズフリーとして登録を行う。

※登録方法は、お手持ちの携帯電話の説明書をご覧ください。

※登録する携帯電話の仕様によってはパスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング機能)の場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい** をタッチすると登録が完了します。

接続待機中画面



※接続待機中に **中止** をタッチすると接続待機を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。



- ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。
- セキュリティ確保のため、パスキー入力の際には約30秒の制限時間が設けられています。パスキーの入力はこの制限時間内に行ってください。
- パスキーとは、BLUETOOTH対応機器を本機に登録するためのパスワードです。
- 携帯電話で複数の機器を検索した場合は、本機の機器名称などで判断してください。

▶「**車載機(本機)のBLUETOOTH情報を確認/変更する**」Q-9

5

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。

初期登録設定



- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ行うことができます。
- 携帯電話は2台までハンズフリー登録可能です。
- 携帯電話が接続されているときには、携帯電話のアイコンが情報バーに表示されます。



情報バー

携帯電話のアイコン
アンテナ3本：電波状態良好

携帯電話のアイコン	意味
	割り当てられている携帯電話 (1 / 2) と電波状態 (アンテナ本数多い程良好)
	圏外 (電波は届いていません。)



着信／発信／通話中のとき電波状態を表示



電池残量

※電波状態(アンテナの本数)は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。(良好でも圏外となることがあります。)
また、着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** をタッチする。

※ VXM-145C をご使用の場合は、手順 **3** へお進みください。

※登録されている BLUETOOTH 対応機器がない場合は、**登録機器一覧** は選べません。

2

ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

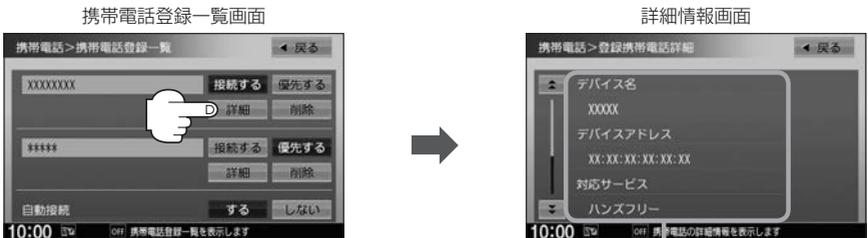
3

詳細情報を見る、または削除する。

■ 詳細情報を見る

① 詳細情報を見たい携帯電話の**詳細** をタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。



登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。

(デバイス名^{*1} / デバイスアドレス / 対応サービス^{*2} / 携帯電話会社 / 自局番号を表示)

* 1… 携帯電話に設定されている名称を表示します。

* 2… 登録した端末が、どのサービスに対応しているかを表示します。

※お手持ちの携帯電話の自局情報(プロフィール)に絵文字を使用している場合、本機では“_”(アンダーバー)で表示されます。

※本機に表示される名称(デバイス名)は登録時のものとなります。携帯電話側で名称(自局情報)を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。

※自局番号(携帯電話の電話番号)が取得できた場合には、その番号も表示します。(取得できなかった場合には“_”(ハイフン)で表示されます。)

■ 削除する

① 削除したい携帯電話の **削除** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると携帯電話を削除し、携帯電話画面に戻ります。



アドハイス

2台の登録があり、現在使用中の携帯電話を削除した場合は、残り1台を接続可能な携帯電話として自動で切り替えます。

携帯電話登録一覧画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドハイス

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話の割り当てを切り替える

接続可能な携帯電話の割り当てを切り替えます。

※携帯電話は2台まで登録が可能ですが、常時接続できる携帯電話機は1台です。

1

MENU を押し、 **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** をタッチする。

※VXM-145Cをご使用の場合は、手順 **3** へお進みください。

2

ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

3

割り当てたい携帯電話の **接続する** をタッチする。

：メッセージを表示しBLUETOOTH接続する携帯電話の割り当てが切り替わります。

※変更前の端末が接続されている場合は、BLUETOOTH切断を行ったあとに割り当てを変更します。

携帯電話登録一覧画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の自動接続を設定する

携帯電話を登録している場合、ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続するかどうかの設定をすることができます。

※初期設定は“する”に設定されています。

1

MENU を押し、 **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** をタッチする。

※ VXM-145C をご使用の場合は、手順 **3** へお進みください。

※登録されている BLUETOOTH 対応機器がない場合は、 **登録機器一覧** は選べません。

2

ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

3

自動接続の設定をする。

する	ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続
しない	ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動接続しない ※自動接続しない設定にしても携帯電話から接続が行われた場合は接続を行います。

携帯電話登録一覧画面



4

設定を終えるには、 **戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



- 自動接続をする設定にしても携帯電話が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末の BLUETOOTH 接続を OFF にしているなど)の場合は接続できません。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の優先接続の設定をする

登録機器が2台ある場合、ナビゲーション起動時にどちらの機器を優先的に接続するか設定することができます。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** をタッチする。

※ VXM-145C をご使用の場合は、手順 **3** へお進みください。

※ 登録されている BLUETOOTH 対応機器がない場合は、**登録機器一覧** は選べません。

2

ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

3

優先したい携帯電話の **優先する** をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチを I (アクセサリ) または II (ON) にしたときより設定が有効となります。

※ 自動接続をしない設定にすると **優先する** は選べません。☞ Q-7 手順 **3**

携帯電話登録一覧画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドハイス

- 登録機器が1台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

車載機(本機)のBLUETOOTH情報を確認/変更する

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** → **Bluetooth本体情報** をタッチする。

: BLUETOOTH本体情報画面が表示されます。



BLUETOOTH本体情報画面



2

デバイス名またはパスキーの変更をする。

■ デバイス名を変更する

① **デバイス名変更** を
タッチする。



② 英数パレットよりデバイス名を
入力し、**決定** をタッチする。

カーソルの
位置を移動



: デバイス名は変更され、BLUETOOTH
本体情報画面に戻ります。

■ パスキーを変更する

① **パスキー変更** をタッチする。

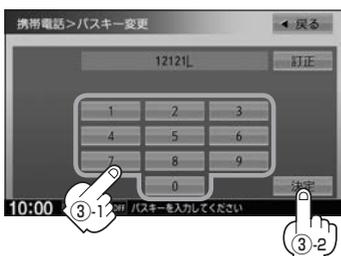


※ VXI-145C をご使用の場合は、手順③へお進みください。

② **ハンズフリー** をタッチする。



③ 10キーボタンをタッチして
パスキー(4～6桁)を入力し、
決定 をタッチする。



: パスキーは変更され BLUETOOTH
本体情報画面に戻ります。

3

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

: **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- **決定** をタッチしないと変更した内容は保存されません。
- 入力した文字を訂正するときは **訂正** をタッチして、再入力してください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

ハンズフリーの通話設定をする

発信音量と着信音量／受話音量／送話音量の設定をすることができます。

- 発信音量・・・発信音の大きさ(+1～+15)
- 受話音量・・・通話先相手の声の大きさ(+1～+15)
- 送話音量・・・相手に聞こえる自分の声の大きさ(+1～+7)

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** →
携帯電話通話設定 をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。



2

調整したい音量の **-** / **+** をタッチする。

- | | |
|----------|-----------------------|
| - | 発信音／受話音／送話音量が小さくなります。 |
| + | 発信音／受話音／送話音量が大きくなります。 |

携帯電話通話設定画面



3

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくはっきりとお話してください。
 - 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
 - 着信中／発信中／通話中に調整することもできます。
- 着信音量は Q-14、発信音量は Q-19、受話音量／送話音量は Q-20

携帯電話のメモリを本機に登録する

携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に登録します。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **電話** → **携帯メモリ読み出し** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると携帯電話接続待ち中画面が表示されます。



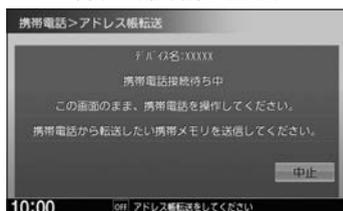
- お使いの携帯電話やスマートフォンの機種によっては、**携帯メモリ読み出し** をタッチすると、自動で転送が開始されるものがあります(この場合の転送は全件転送のみとなります)。手順 **3** (Q-13)に進み、**終了** をタッチしてください。
- 自動で転送させたくないときは、携帯電話やスマートフォン側で操作してください。詳しくはお使いの携帯電話やスマートフォンの説明書でご確認ください。

2

携帯電話を操作する。

※読み出したいアドレス帳を選び、データ送信を開始します。

携帯電話接続待ち中画面



：本機に携帯電話のアドレス帳の転送が開始されます。

※選んだアドレスの数によって表示される画面が異なります。(1件転送/全件転送)



- データ転送は本機が携帯電話接続待ち中画面を表示している間に行ってください。
- アドレス帳のデータ送信やBLUETOOTHの接続/再接続などの操作方法は、お使いの携帯電話によって異なります。お使いの携帯電話の説明書をご覧ください。
- メモリの読み出しは、本機にハンズフリーとして登録、接続されている携帯電話のみ可能となります。

1 件転送



全件転送



追加保存するか上書き保存するか選んでください。



アドバイス

本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のメモリを更新した際は、再度メモリ(アドレス)を登録してください。

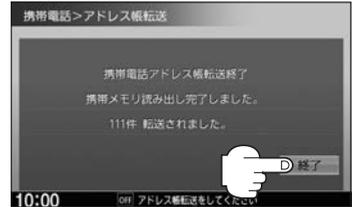
3

読み出し(アドレス帳転送)が完了したら、

終了 をタッチする。

：携帯電話画面に戻ります。

アドレス帳転送終了画面(全件転送例)



アドバイス

- **中止** をタッチするとメモリの読み出しは中止されます。
- 本機のメモリがいっぱいになったり(1台あたり最大1500件)、不正なデータがある場合は転送は終了されます。
※すでに本機に転送されたメモリ(アドレス)は本機に保存されます。
- メモリ読み出し中に車のエンジンスイッチを変更した場合、メモリ読み出しは中止されます。その場合は、再度メモリ読み出しをやりなおしてください。(故障のおそれがありますので、メモリ読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。)
- 携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。
- メモリ読み出し中に着信があった場合、BLUETOOTH接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種により読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数・桁数は、名前:全角9文字まで/よみ:半角18文字まで/電話番号:36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 手順 **2** (Q-12)で全件転送(一括送信)をすると携帯電話の機種によってオーナー番号(お客様自身の番号)も登録される場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

電話を受ける

なるべく安全な場所に停車してください。

周りの安全を十分に確認して、通話は手短かに終了するようにしてください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。

(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

電話がかかってくると呼び出し音が鳴り、自動的に着信通知画面が表示されます。

着信音量を調整する

電話がかかってきたときの着信音量を調整することができます。

1 着信音が鳴っているときに、**−** / **+** をタッチして音量を調整する。

- | | |
|----------|---------------|
| − | 着信音量が小さくなります。 |
| + | 着信音量が大きくなります。 |



携帯電話通話設定画面からも電話の着信音を調整できます。

☞ 「**ハンズフリーの通話設定をする**」 Q-11

電話に出る

1 **開始** をタッチする。

: 通話可能となります。

着信中のアドレス情報を表示

(アドレス帳に名前登録がある場合は上段に名前／下段に番号を表示、名前登録がない場合は上段に番号のみ表示)



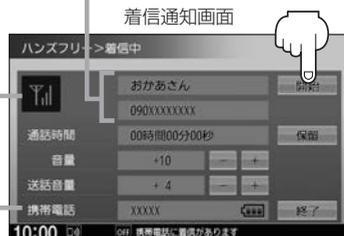
- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されている場合、着信音が出ない場合があります。
- 携帯電話通話設定画面からも受話音量を調整できます。

☞ 「**ハンズフリーの通話設定をする**」 Q-11

- 着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。

電波状態を表示

接続機器(携帯電話)の名称と電池残量を表示



保留にする

走行中などで、すぐに電話に出られないときは保留にすることができます。

1

電話がかかってきたら、保留**をタッチする。**

：着信保留画面になるとともに電話がつながり、かけた人に電話に出られないことを音声で案内します。



アドバイス

- 音声で案内しているときも、相手には通話料金ががかかります。
- 保留中に**終了**をタッチすると電話が切れます。
- 着信保留を行うためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。
※対応していない端末は保留をタッチすると切断されます。

着信通知画面



■ 通話できる状態になった

① 通話をタッチする。



：通話可能となります。

② 通話が終わったら**終了**をタッチする。

通話中画面



：電話が切れます。



アドバイス

通話中にエンジンスイッチを変更した場合、通話は終了(切断)されます。

電話を受ける

通話を拒否(終了)する

かかってきた電話に応答しないで切る(拒否する)ことができます。

1 着信通知画面で**終了**をタッチする。

：かかってきた相手と電話を接続することなく電話が切れます。



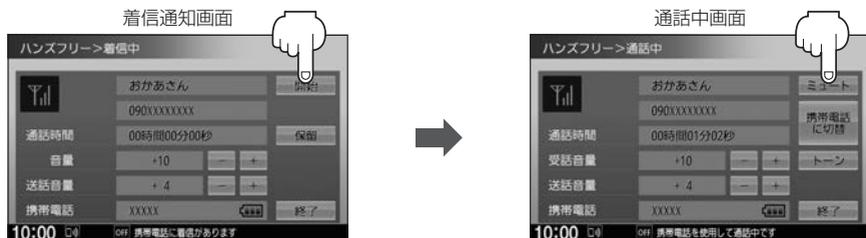
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすることができます。

※相手の声は聞こえます。

1 着信通知画面で**開始**をタッチして通話しているときに、**ミュート**をタッチする。

：ミュート中画面になり、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。
(※電話回線はつながったままの状態です。)



再度こちらの音声を出す

① **通話**をタッチする。



：自分の声が相手に聞こえます。

通話を携帯電話に切り替える

通話をマイクから携帯電話に切り替えます。

1

通話中画面で **携帯電話に切替** をタッチする。

:メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、通話を携帯電話に切り替えます。

通話中画面



■ 通話を本機に戻す

① 通話中画面で **カーナビに切替** をタッチする。

:メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、通話をハンズフリー通話(本機)に切り替えます。

通話中画面



電話を受ける

トーン入力する

トーンを使って、留守番電話の遠隔操作やチケット予約などのサービスを利用することができます。

1 通話中画面で **トーン** をタッチする。

：トーン入力画面が表示されます。



2 入力したい番号を 10 キーボタンをタッチして入力する。

：タッチすることによりトーン信号情報を携帯電話に送信します。



アドハイス

- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 通話先の相手によっては、トーンを使っての操作ができない場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみトーン入力することができます。

電話をかける

なるべく安全な場所に停車してください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてお考えください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

いろいろな方法で電話をかけることができます。

電話番号から

電話番号を入力して電話をかけます。

1

MENU を押し、 **携帯電話** → **電話** → **電話から** をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。

2

相手先の電話番号を入力し、
発信 をタッチする。

：入力先(相手先)に電話をかけます。

※36桁まで入力でき、24桁まで表示します。

※携帯電話によっては、入力した桁数が多い場合、
発信できないことがあります。この場合、携帯電話側の仕様をご確認ください。



発信中画面で

アドバース

発信中画面

- / **+** タッチで発信中の音(呼び出し音)の大きさを調整することができます。



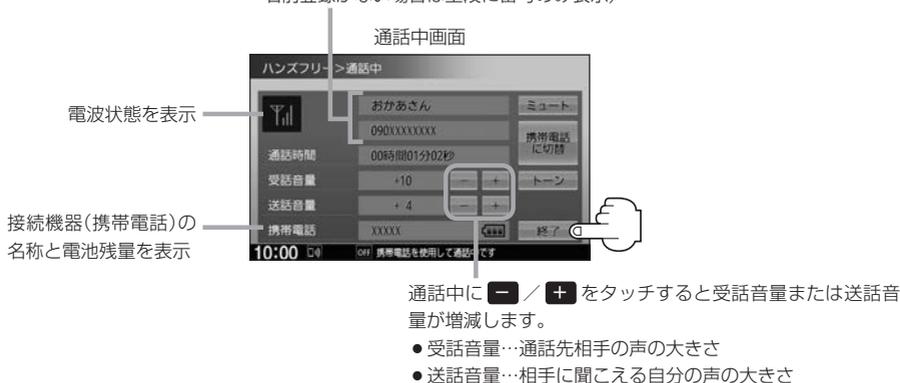
終了 をタッチすると発信を中止することができます。

3 通話が終わったら、**終了** をタッチする。

：電話が切れます。

通話中のアドレス情報を表示

(アドレス帳に名前登録がある場合は上段に名前/下段に番号を表示、
名前登録がない場合は上段に番号のみ表示)



アドハイス

- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
〔例：本機は発信中で相手はまだ応答していない(電話に出てない)が、本機の画面では通話中となります〕
- 接続する携帯によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 車を完全に停止した場合のみ **電話から** を選ぶ(〔**Q-19**手順 **1**〕)ことができます。
- 通話を携帯電話に切り替えたり、本機に切り替えたりする操作方法は 〔**Q-17**〕

リダイヤルから

最後にかけた電話番号に電話をかけなおすときは数字を入力しなくても簡単にかけることができます。

1 **MENU** を押し、**携帯電話** → **電話** → **リダイヤル** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチしてください。



アドハイス

発信履歴がない場合 **リダイヤル** は選べません。

履歴から

発信や着信の履歴を利用して電話をかけることができます。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **電話** → **発信履歴** / **着信履歴** をタッチする。

: 履歴リスト画面が表示されます。



発信／着信履歴がない場合 **発信履歴** / **着信履歴** は選べません。

2

発信履歴リスト／着信履歴リストから電話をかけたい相手の番号を選ぶ。

※アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前が表示されます。

発信履歴リスト画面(例)



全削除 をタッチし、**はい** を選ぶと
発信履歴／着信履歴を一括で削除



- リストに表示される履歴は最新の10件です。
- 施設の詳細、登録地点詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。(施設名／地点名は表示されません。)
- 携帯電話本体を操作して発信を行った場合には、本機の発信履歴には保存されません。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。また、非通知の場合電話をかけることはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。

発信 をタッチする。

発信履歴詳細画面



* 1

削除 をタッチし、**はい** を選ぶと
選択中の発信履歴／着信履歴を削除

: メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると選んだ発信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

※発信中画面(☎ Q-19 アドバイス)を表示し、相手につながると通話中画面(☎ Q-20 の手順 **3**)になります。

* 1… アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前も表示されます。

電話をかける

3 通話が終わったら、**終了**をタッチする。

：電話が切れます。

アドレス帳に名前登録がない場合は、
上段に番号のみ表示



アドバイス

- 同じ相手への発信履歴や、同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

アドレス帳から

本機に登録したアドレス帳を使って電話をかけることができます。



アドバイス

あらかじめ携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に転送しておく必要があります。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **電話** → **アドレス帳から** をタッチする。

：名前検索画面が表示されます。

※アドレスのデータがない場合 **アドレス帳から** は選べません。

2

名前またはメモリ番号から電話をかける。

■ 名前からかける

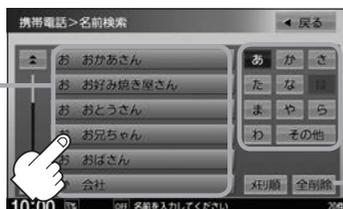
本機に転送したアドレス帳を使って50音から検索して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の名前を選ぶ。

：アドレス帳詳細情報画面が表示されます。

名前検索画面

名前の頭文字(またはそれ
以外の文字)を表示



名前の頭文字をタッチすると該当する名前が表示され、効率よく絞り込むことができます。(選べない文字は暗くなります。)

登録されている全ての名前(アドレス)を一括で削除



アドバイス

携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。

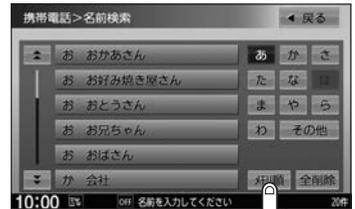
■ メモリ番号からかける

本機に登録したアドレス帳を使って登録番号から検索して電話をかけることができます。

① **メモリ順** をタッチする。

：メモリ番号検索画面が表示されます。

名前検索画面



② リストの中からかけたい相手のメモリ番号を選ぶ。

：アドレス帳詳細情報画面が表示されます。

メモリ番号検索画面



3

詳細画面でアドレス帳の内容を確認し、

発信1 または **発信2** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると電話をかけます。

※発信中画面(☎ Q-19 アドバイス)を表示し、相手につながると通話中画面(☎ Q-20 手順 **3**)になります。

アドレス帳詳細情報画面



選択中の名前(アドレス)を削除

発着履歴を削除する

発信履歴、着信履歴を一括で削除することができます。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **電話** → **発信履歴** / **着信履歴** をタッチする。

: 履歴リスト画面が表示されます。

2

全削除 をタッチする。

: メッセージが表示されるので **はい** を選ぶと、
発信または着信履歴を一括で削除し、携帯電話画面に戻ります。

発信履歴リスト画面(例)



通話中に地図画面を表示する

BLUETOOTH対応携帯電話を使用して通話しているときでも地図画面を見たり、目的地設定などができます。

1

通話中に **現在地** を押す。

: ナビゲーション(地図)画面が表示されます。

■ 再度通話中画面にする

① **MENU** を押し、**携帯電話** をタッチする。

: 通話中画面に戻ります。



- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- 通話中は、オーディオの音量調整は無効となります。

QQコールを利用する

QQコールとは

「QQコール」とは、QQコール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHonda販売店やサービス工場など、Hondaネットワークでお客様をサポートするシステムです。

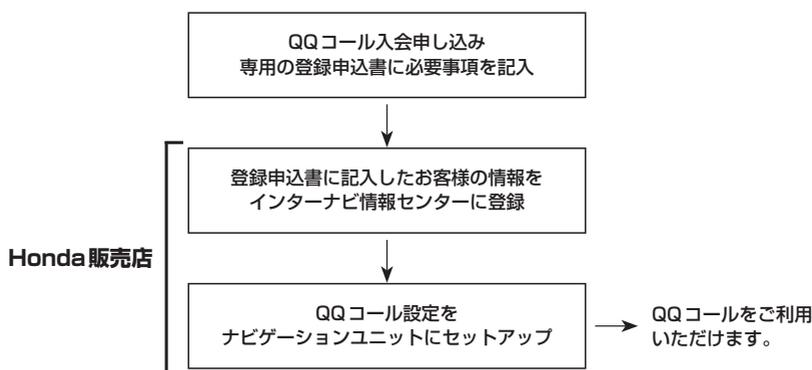
お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。

「QQコール」は、Honda販売店での入会手続きが必要です。詳しくは、QQコールの紹介ページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/qqcall/>

QQコールを利用するまでの流れ

QQコールを利用するには、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。



QQコールを表示する

QQコールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。

QQコール はHonda販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **電話** → **QQコール** をタッチする。

: QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。



インターナビ

2 QQコールセンターへ電話をかける。

：オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

■ 携帯電話が本機に BLUETOOTH 接続されている

① 発信 をタッチする。

※走行中、**発信** はタッチできません。

現在地のマップコード



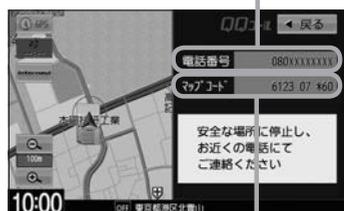
※バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。

② 会話終了後は、**通話終了** をタッチする。

■ 携帯電話が本機に BLUETOOTH 接続されていない

① お手持ちの携帯電話を使用して表示されている番号に電話をかける。

電話番号



現在地のマップコード

② 会話終了後は、お手持ちの携帯電話を切る。



- QQ コールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- QQ コールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能などの操作が可能です。
 - ・ 地図表示(方位)の切り替え
 - ・ 地図の拡大／縮小
 - ・ 地図スクロール
 - ・ オーディオモードの音量調整
 - ・ オーディオモード(AV電源)のON／OFF
- 走行中はQQ コールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行ってください。
- **戻る** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。
- QQ コール画面から地図スクロール画面を表示させた場合、情報バーの住所表示は現在地の住所が表示されます。

BLUETOOTH 接続時の QQ コール画面について

- 電話発信中は、発信音量を調整できません。
- 相手先と通話中は、受話音量／送話音量を調整できません。

Siri Eyes Free 機能を使う

VXM-145VSi

VXM-145VS

Siri Eyes Free は、iPhone を本機と BLUETOOTH 接続し別売のマイクに話しかけることにより、手で操作することなく iPhone が利用できる機能です。

※利用できる機能に制限がかかる場合があります。利用できる操作はお使いの iPhone によります。

準備する

Siri Eyes Free 機能は iPhone 5、iPhone 4S でご利用になれます。iOS 6.1.3 以降をご利用ください。あらかじめ iPhone を本機と BLUETOOTH 登録・接続する必要があります。別売のマイクが必要です。

使用する

1 iPhone の Siri 機能をオンにする。

※詳しくは iPhone のユーザガイドなどをご覧ください。

2 **AUDIO** またはオーディオリモコンスイッチの **MODE** (車両によっては **SOURCE**) を長押しする。

: Smartphone VR 画面が表示されます。

3 ピピッと音が鳴るのでマイクに発話する。

※再度ピピッと鳴り、Siri Eyes Free 機能が動作します。

※再度発話する場合は、以下いずれかの操作をして発話してください。

- ・ **AUDIO** を押す
- ・  をタッチ
- ・ オーディオリモコンスイッチの **MODE** (車両によっては **SOURCE**) を押す

VXM-145VSi (例)



4 Siri Eyes Free 機能を終了するには、**AUDIO** またはオーディオリモコンスイッチの **MODE** (車両によっては **SOURCE**) を長押しする。

Siri Eyes Free 機能を使う



アドバイス

- Siri Eyes Free 起動中でも **現在地** や **MENU** を押すと、地図画面やトップメニューに切り替えることができます。地図画面などでも Siri Eyes Free 機能をご利用になれます。Smartphone VR 画面に戻るにはトップメニューの **Smartphone VR** をタッチします。



VXM-145VSi(例)



- 走行中などの使用状況によっては、iPhone が音声認識できない場合があります。例：高速走行時や窓があいている場合、エアコンの風量設定が大きい場合など、周囲の騒音が大きい環境
- iPhone の電波が届きにくいところでは、Siri が適切に機能しなかったり、応答に時間がかかることがあります。
- エンジンスイッチが 0 (ロック) のときに iPhone で Siri 機能を起動し、その後エンジンスイッチを I (アクセサリー)、または II (ON) にすると、本機の Smartphone VR 画面が表示されない場合があります。その場合は Siri 機能をいったん終了し、再度起動させてください。
- Siri 起動中であっても、iPhone 側の動作状態によっては、Siri が適切に機能しなかったり、Siri が終了してしまうことがあります。
- BLUETOOTH Audio 接続中の iPhone に対し、楽曲再生指示を行い、BLUETOOTH より再生が開始された場合は、自動的に Siri 機能を終了して、本機の BLUETOOTH Audio ソースに切り替わります。
- オーディオ再生中に Siri を起動した場合、楽曲再生指示を行わなくても、本機が BLUETOOTH Audio ソースに切り替わる場合があります。
- iPhone が USB 接続中の場合、Siri が適切に機能しなかったり、Siri が終了してしまうことがあります。
- BLUETOOTH Audio 再生開始時、iPhone が読み上げた楽曲名と再生される楽曲が一致しない場合があります。
- iOS のバージョンによっては、Siri Eyes Free の終了に時間がかかる場合があります。
- 電話発信指示が行われたことによるハンズフリー通話は、発信履歴には保存されません。
- BLUETOOTH Audio ソースから再生が開始されない場合は、iPhone 出力先から音楽が再生されます。
- 本機と iPhone を接続中に、iPhone 側から Siri を起動しないでください。Siri が適切に機能しなかったり、Siri が終了してしまうことがあります。
- オーディオ リモコン スイッチの操作は車両によって異なる場合があります。
- Siri Eyes Free 起動中は、オーディオの音声はできません。
- Siri Eyes Free が起動しないときは以下を確認してください。
 - ・ Siri Eyes Free に対応している iPhone がハンズフリー登録されていること。
 - ・ iPhone の Siri 機能がオンになっていること。
 - ・ 本機と iPhone の BLUETOOTH 接続を一度 OFF にし、再度接続を行う。